

公益社団法人私立大学情報教育協会
令和3年12月25日

遠隔で現場情報を集め、会計的視点から課題 発見・解決策を考察するPBLモデルの提案

分野連携アクティブ・ラーニング対話集会
会計分野

名古屋学院大学名誉教授

岸田 賢次

講義の進行手順

1. 概要の説明

講義課題、資料、レポート用紙を事前に渡す

2. 思考過程の記録および提案等のレポートの事前配布及び事前回収

3. チーム編成、書記の指名、と各自のID発行

4. 課題についてのディスカッション。書記によるグループの見解発表、および各自の意見表明

グループのディスカッションに割り込み教員が参加していることを認識させる
課題ごとの割り当て60分

進行のタイムスケジュール

現場情報の提示および状況の説明	10	実際は1分、議論の時間を増やす
グループでの議論	20	
意見のまとめ	10	
発表	20	

5. 1コマでの発表は2グループとし、全体意見表明及び各自の意見とし、全グループが発表する機会を考慮して運用する。

1グループは最大5名

20名予定が実際は36名参加となってしまったので1グループ7名で運用

協力していただいた企業

今回の現場情報は、マレーシア、タイ、日本の4企業の協力を得ました。海外企業を選んだ理由は、日本のように、生産方式など、整理整頓がすすんでおり、身近にサンプルがなかったことなどによります。

A社:見込み生産をしていた企業を指導していた時の質問および企業側の説明などしていた時の映像です

B社:いわゆる小企業の総務経理の映像です。パソコンは1台のみ。付箋が目立ちます。

C社:工場団地に入っていた企業で、新工場稼働前日に水没したときの映像です。水は40キロ以上離れたところから来ました

D社:機密情報が含まれるため公表不可です。この企業では、ライン、設備配置の見直しなどで、社内の物流などを工夫し、フォークリフト台数を減らすことに成功しています。

事前に学生に渡す、受講の心得の内容

社長の話や社内の写真から、会社のどこに問題が潜んでいるかを探り、それは会社にどこに悪影響を与えているか、どのように行動すればそれを解決できるか、解決すれば何が変わるか、だれがハッピーになれるかを考えることとします。そして、皆さんの思うところを、経営者の心に響く提案としてまとめる力を養うことを目標とします。

到達目標

1. 表面的な話から、本質的な課題を見つけ出し、対応を説明することができる
2. みえている現象は、何によって起きているかを見つけ出し、対応を説明することができる
3. 現状から、何らかのヒントを得て、新しい行動を導き出すことができる

このような課題を出すと、どのような手法・ツールを使うのですか？という質問を受けます。実際いろいろな課題解決手法が存在します。でも、手法を知っていたとして、疑問が解消するものではありません。手法は考え方を整理する支援手段にすぎません。なぜだとか変だと思わなければ、その人にとっては、普通の風景であり、どこにも問題はないのです。解決すべき課題もないのです。

今回は、ZOOMを利用するため、残念ながら、グループディスカッションの状況を見ながら、質問やアドバイスをするという対機説法のような方法をとることができません。皆さんには、なぜだろうという、疑問を持っていただきたい。小さな子が「なぜ」「どうして」とよく聞くように。

変だと思ったら、なぜ変と思ったかを考えます。やはり何かおかしいとなったら、何がおかしいかを具体的に拾い出しましょう。そして、それは誰にとって変なのか。どのように変なのか。それは何が原因は起きているのか。その原因はどうすれば解消するのか。解消すると何がよくなるのか 影響を受けていた人は、それでハッピーになれるか 解消するのにどのくらいコストがかかるのか。

実務では、与えられる時間の余裕もさほどありません。「来週には」が一般的でしょう。期限内にまとめることは重要です。後に回しても、別の仕事が入ってきて、結果として何ら成果も得られないのが普通です。

次のページの用紙にそれぞれの課題について、あなたがどのように考えたかの経緯を書いてください。そしてどのような提案をするかをまとめてください

これから取り組む課題には、当然ですが正解はありません。経営課題解決とはそういうものです。

事前配布用紙

あなたの思考経過を記載してください

	なぜこのようになったと思いますか	それを解決すると、どうなりますか
最初に考えたこと		
本当にそうか考えよう		
更に考えてみましょう		

あなたの、社長への具体的な提案を書いてください

問題の所在	
提案本文	
期待される効果	
その他お伝えする事項	

1. A社の事例

社長との話をまとめると次の通り。

製品の評判がよく、注文は拡大している。仕事がさばききれず、納期が守れないので困っている。工場を増設すれば生産能力も上がり、問題は解決できると思う。投資効果の評価をしてほしい。工場を社長と一緒に見て回った。下は資材倉庫ほかの写真である。

写真には著作権があります。無断でネットにあげたり、転用しないでください。



倉庫遠景

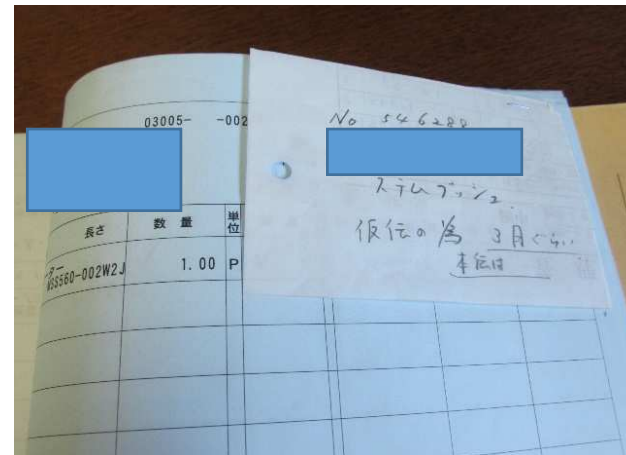
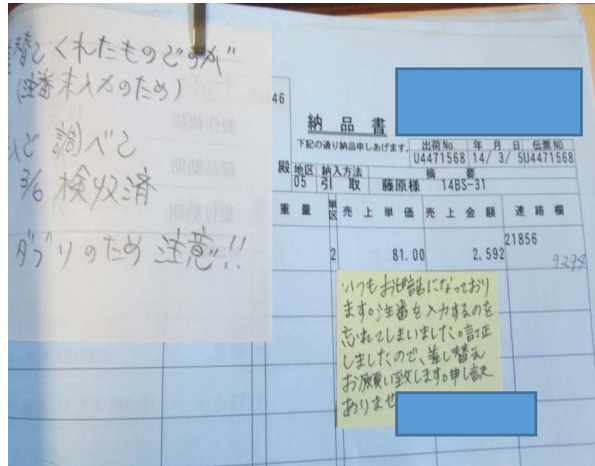


倉庫前で説明を受ける

B社の事例

社長の話: 特にな変わったことはない。

写真には著作権があります。無断でネットにあげたり、転用しないでください



C社の事例

キーボードは水に浮く

写真には著作権があります。無断でネットにあげたり、転用しないでください



D社の事例

社長の話: 受注は、完全に持ち直している。

写真から会社名や取引先がわかるので、写真の使用はできないので、状況を説明します。製造業であり、工場内ではフォークリフト5台が走り回っており、活気のある会社です。工程間の移動や仕掛の一時的な保管にも活躍しています。出荷時にトラックへ製品を積み込むのにもフォークリフトが活躍しています。

回収した事前レポートの例

用紙が足りなければ追加してください。

課題 (1) 2 3 4

最初に考えたこと	なぜこのようになったと思いますか ・資材倉庫の写真から資材の適切な管理、把握ができていない可能性がある。	それを解決すると、どうなりますか ・工場の増設をおこなわなくても既存のリソースの効率化で生産性の向上が図れる可能性がある。
本当にそうか考えよう	・適切な資材管理や状況把握を行う人材が不足している可能性がある。	・関与先にとって本議題に挙げられている製品の需要拡大に伴う問題以外の様々な問題に対しても解決に向けた行動を進める事ができる可能性がある。
更に考えてみましょう	・需要のある製品以外にも今後伸びる可能性のある製品はないか ・管理している資材、生産スケジュールに無駄はないか ・現場の責任者と社長との間に認識のズレや把握していない問題はないか	・本当に注力すべき製品の選別 ・既存生産ラインの最適化 ・経営者と現場との認識のズレによる問題や取り組むべき課題のズレ、方向性の修正

あなたの、社長への具体的な提案を書いてください

問題の所在	社長が会社の現状を正しく把握していない可能性がある。
提案本文	現場責任者や作業者とも会話を交えて会社に必要な根本的な課題、問題点について検討を行う必要がある。製品の生産性の向上のためには現状の正しい把握が必要である。
期待される効果	不要な設備投資等をさげ、長期的で安定的な組織運営につながる可能性がある。
その他お伝えする事項	

用紙が足りなければ追加してください。

課題 1 (2) 3 4

	なぜこのようになったと思いますか	それを解決すると、どうなりますか
最初に考えたこと	人材不足	事務員さんの採用
本当にそうか考えよう	事務員さんは何人いるのだろうか。 整理整頓ができない人なのか。 書庫はないのか？	書類の整理整頓がされると、事務の効率化が図れる。
更に考えてみましょう	とりあえず付箋紙に書いている様子がうかがえるが、それでは間違いのもとになる。 目の前の情報量が多いため、ミスに繋がっているのではないか？ 現状では、人の変化には耐えられない。	ミスが起きていることを把握し、改善するとお客様の信用が得られる。 誰が見てもわかるような環境になれば、人が入れ代わっても対応できる。

あなたの、社長への具体的な提案を書いてください

問題の所在	ミスの多い、整理整頓で来てない事務所
提案本文	書類が多すぎて、事務作業の場所がない状態ですので、ミスも起こりやすい。このままではお客様の信用を失ってしまう可能性があるため、整理整頓をした方が良いと思います。誰が見てもわかる環境にすることで、人の入れ代わりにも対応できると思います。
期待される効果	お客様の信用度が上がる。 事務処理の時間が短縮される。
その他お伝えする事項	

用紙が足りなければ追加してください。

課題 1 2 3 ④

	なぜこのようになったと思いますか	それを解決すると、どうなりますか
最初に考えたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・工場内でフォークリフトを5台使用しているとあるが、フォークリフト操縦者は皆、フォークリフト運転技能講習修了者であるのか。また、工程間の移動の際に、公道を走る可能性があるのであれば大型（または小型）特殊自動車免許も併せて保有しているのか。 ・労働災害防止対策はどのように行われているのか。また、それが文書化されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスを遵守し、事業活動を行っていくことは企業の持続的な発展のために重要である。 ・労働者の安全の確保は経営者の重要な課題である。
本気で考えようか考えようか	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフトの無免許運転は違法行為であり、万一、事故等が起こった場合には、6ヶ月以下の懲役もしくは50万円以下の罰金に処される。経営者はこのことを認識しているのか。 	同上
更に考えてみましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・罰金は法人税の計算上損金に算入しないが、フォークリフト運転技能講習等の費用は教育訓練費として法人税の計算上優遇措置がある。 ・罰金は消費税の計算上、仕入税額控除の対象とならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者は万一に備えた行動を選択しなければならない。

あなたの、社長への具体的な提案を書いてください

問題の所在	まず、上記の認識が社長にあるのかを確認し、もし、無いのであれば万一に備えた行動を選択すべきである。
提案本文	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフト操縦者の社内教育体制の構築 ・労働災害防止対策のための作業マニュアル等の作成
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守することにより、外部からの信用を得ることができる。 ・安全・安心に事業活動を行っていくことが、結果として将来の企業の利益となる。
その他お伝えする事項	

ディスカッションの進行について

留意した事項

事前に、講義内容をレポート作成及び提出により周知できた

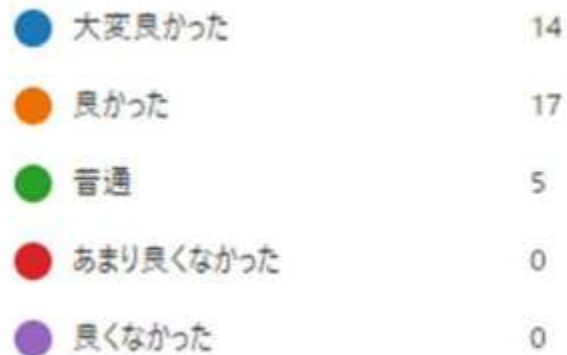
グループ意見をまとめるため、書記担当者を設定したこと

書記担当者が、メンバー全員の意見を聞きだしたこと

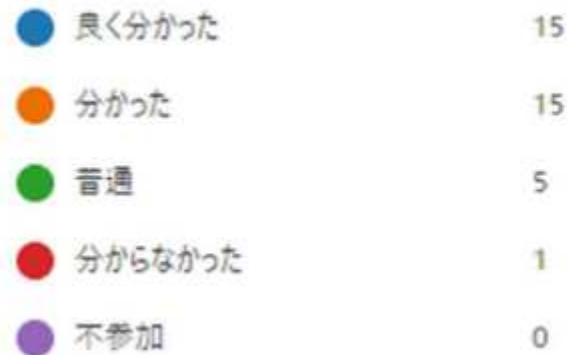
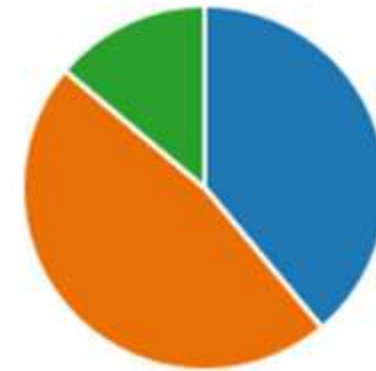
これにより、グループ内での発言が活発になり、いろいろな視点からの発言がなされるようになり、グループごとに特徴のある意見がまとまった。

全体発表の時も、メンバーが補足意見を述べるなど、講義形式でのディスカッションを行った時よりも、活発なものとなり、受講者の満足度も高かった。

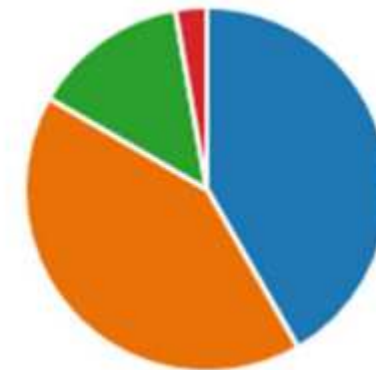
講義についてのアンケート結果



講義そのものの印象



A社のケースへの理解度



個別の意見など

写真から想像する力がいかに必要なのか、そして普通ではないという感覚を持つことの大切さがディスカッションをして分かった

ディスカッションをすることでいろいろな方の考えを知ることができ、理解が深まった。

話す機会の多い講義だったので人に伝える練習になった。

ディスカッション方式の研修は初めてだったので、いろんな意見を聞くことができました。その中に解決に繋がりそうな意見が出てきたりして一人では思いつかなかったような意見も聞くことができ、有意義な時間でした。

固定概念に囚われずに広い視野で物事を捉えることが出来る習慣を身につけたい。

ネットの具合で、音声不安定で聞きづらい。

ZOOMなどで、パワーポイント画像や講義を聴いただけだと、理解の確認ができないが、ディスカッションがあることで、真剣に効くことができ、考えた。

評価

当初レポートでは、当然のことながら、会計的な視点にたつ意見が多くみられた。しかし、グループディスカッションでは、視点が広がり、いろいろな局面からの議論がなされ思考が深められた。

その結果、いろいろな視点での課題発見、および解決案など、従前とは異なる視点からの理解がなされた。他の人の知識を応用し、表現能力も高まった。

また、現場写真を問題意識を持ってみることで、まったく想定しない視点で議論がされたことで、物事を注意深くみることに気が付いた人も多くみられた。その意味で、おおむね期待した成果はあがった。

集合教育でのグループ・ディスカッションでは、参加しているだけで発言をしない受講者もいるが、書記役がメンバーそれぞれの見解を確認したためか、全員が議論に参加していた。久しぶりの遠隔講義であり、WEBを利用した時に、どれだけ議論がすすむか心配であったが、講義形式では見られない活発な議論がなされた。

最後に、ケースの企業がどのような決断をしたかを教えてほしいという要望があったので、事実のみを説明した

最後に、最初にも指摘しているが、経営課題解決に正解はないにもかかわらず、答えを教えてくれないという不満を持つ受講者もいた

ご清聴ありがとうございました